

観光問題

問 観光の複合施設建設の考えは

答 ビジターセンターを前向きに考えます



津滝 俊幸 議員

【観光行政について】

問 観光課長と観光局長は兼務させるべきではないかと思うが。

村長 観光振興という目的には立場は同じであるが、それぞれ求められるものには違いがあるので、平成26年度に向けて人事体制を検討したいと考えます。

村長 観光消費額の実数は把握していません。県の「観光地利用者統計調査」の入り込み数に対して村が設

定する消費単価を乗じ、平成24年度は133億円余りでした。今後は実数の把握調査に努めたいです。

問 観光局そのものも含め、情勢に適した組織体制に整える考えはあるか、また、観光振興計画の策定についてはどのような考えか。

村長 計画には、地域経営的な視点を取り入れ「第5次総合計画」と関連させ、先行するかたちで進めます。局を含めた推進体制、他の組織との連携、住民との関与などについても検討を進め、計画に基づく事業が確実に進められる体制を整備します。

村長 村職員を県観光局へ派遣したような研修を含め、観光局への派遣職員の対応についても来期へ向けて検

討します。

問 観光の情報発信や図書館、文化財の展示、来訪者の交流する機能を備えた複合施設を建設する考えはないか。

村長 観光ビジターセンターを必要とする時期にスピード感を持って、前向きに考えていきます。

【下水道受益者負担金問題について】

問 村民への分かりやすい説明と理解をどのようにするか。また、職員との信頼関係と庁内組織の今後の構築については。

村長 住民への理解は、ホームページや「広報はくば」を含め、今後、開催される地区役員懇談会で解りやすく丁寧に説明していきます。職員とは世代別の懇談や、職制ごとの懇談を通じて組織としてのまとまりを図っていきます。

問 問題に関わる歴代の特別職や課長等への自主的負担については。

村長 対象者へ説明会を開いたが、欠席者もありました。強制的ではないが事情を賢察のうえ自主的な対応をお願いしたいと思います。

問 懲戒処分については。

村長 任命権者の裁量に委ねられていますが、職員への処分は、監査報告や監査勧告を熟読のうえ、厳格ながらも公正に処理し、不適切な事務処理を改めさせ将来のあり方を論ず考えです。



「観光課」と「白馬村観光局」が役場隣接の白馬村多目的研修集会施設へ